

# 地域連携推進会議

## 1. 会議概要

- ・会議名 : 令和7年度第1回地域連携推進会議
- ・開催日 : 令和7年度9月27日(土)
- ・開催時間 : 9:30~10:20
- ・開催場所 : (会議) サポートハウスオレンジの里  
(事業所見学) サポートハウスオレンジの里

## 2. 出席者一覧

### 《生活介護事業所オレンジの里》

- ・生活介護事業所オレンジの里管理者 : 久米川 勝
- ・生活介護事業所オレンジの里サービス管理責任者 : 鹿倉美樹子

### 《サポートハウスオレンジの里 国分》

- ・サポートハウスオレンジの里国分サービス管理責任者 : 徳元 剛志
- ・サポートハウスオレンジの里国分利用者家族 : 有馬恵子
- ・サポートハウスオレンジの里国分利用者家族 : 西田智子

### 《地域関係者》

- ・福島第4自治会会長 : 本仮屋浩治
- ・福島地区民生委員 : 乙幡佳子
- ・霧島市地域見守り支援員 : 山内佐和子

## 3. 事業所案内・見学

構成員による事業所見学を実施。事業所の建物や設備等の説明、入居者の方々の日々の生活についての説明や様子を見ていただいた。

なお、事業所見学は地域連携推進会議とは別枠なため、制度の趣旨に沿っての対応を行った。

入居者の方々の表情、職員の声掛け、事業所内の雰囲気などを通じて、支援について知っていただく良い機会となった。

## 4. 会議目的

事業所と地域との連携による

- ①利用者との関係づくり
- ②地域住民による施設等や利用者に関する理解の促進
- ③サービスの透明性・質の確保
- ④利用者の権利擁護

を図り、これらの目的を達成するための、地域の関係者を含めた外部の方が参画する会議体である。

## 5. 議題と内容

### 1) 管理者挨拶

管理者により地域連携推進会議の開催にあたり、日頃の地域の皆様にご理解とご協力に対して、感謝の言葉が述べられた。また、入居者の暮らしを地域と共に支える意義について触れ、今後も開かれた施設運営を目指す旨が伝えられた。

### 2) 施設概要説明(振り返り)とサービスの透明性・質の確保について

- ・入居者の日常生活の様子について

資料や写真、エピソードを交えながら、入居者のサポートハウスでの過ごし方(平日や休日)や余暇活動等についての報告を行った。

日々の支援の中で大切にしている視点や、職員の関わり方についての説明を行う。

- ・入居者の必要経費(生活費・利用料等)の説明

入居者の方が生活する上で必要な経費は自己負担であることを説明する。

個人の出納台帳を作成し、金銭面の管理を来なっている事を報告する。

### 3) 地域理解の促進と地域の連携

- ・障害について(地域理解促進)

知的障害、身体障害、精神障害等、様々な障害特性について管理者より説明が行われた。参加者からは「表面上で障害の有無がわかりづらい部分もあり、全てを理解することは容易ではないが、今回の会議を機に、このような特性を持つ方の理解を深めたい」との声も上がり、地域住民の理解促進に向けた足がかりになった事を実感できた

- ・地域行事への協力・交流活動

自治会会長より、ここ数年間、地域住民も20年～30年前に比べると、地域の行事やボランティア活動に参加する人も少なくなり、行事や活動として成り立たない部分が多く、開催を見送るケースも増えてきたことを話される。

そこで、地域住民との共助というものを含めて、大きな災害(水害)に見舞われた時には、管理者より生活介護事業所の上階を緊急避難場所として利用できることを検討することを伝えられる。

地域参加の一環として取り組んでいる、ゴミステーションの清掃は年に1回実施しているため、今後も継続して取り組んでいく旨を報告する。

## 6. 参加者からの質疑応答

- 参加者より、地域住民とさらなる交流機会の拡充についてご意見、ご質問が寄せられた。

協議内容・意見等

- ・入居者ご家族

施設で収穫した作物を要望に沿って購入することはできないのか？以前はソラマメの収穫にも購入しようと思った際には売り切れていたため、プリントで案内出来ればとても助かります。

- ・事業所職員

収穫した野菜等については、入居者の家族には連絡帳に記載や、プリントを配布するなどして要望に応えられるように対応して参りたいと思います。

- ・福島地区第4自治会長

本日はこのような会議に参加させていただき、ありがとうございました。

この後にこちらの施設を利用している方々と、芋掘りを通じて親睦を深めることができると思うので、楽しみにしています。

- ・民生委員

本日はこのような会議に参加させていただき、ありがとうございました。普段から通勤等で施設付近を通るのですが、このオレンジの里さんがどのような場所であるのかを知らなかったのですが、皆さんのお話を聞いて少しずつ施設の実態を把握できたかと思います。先ほど収穫した作物の購入する件でお話しがありましたが、地域住民への販売も検討してみてはどうでしょうか？

- ・管理者

ありがとうございます。今後も地域の方々のニーズに応えられる施設づくりに取り組んでいきたいと思ひます。それから、今年は水害で被害に遭った住民も多数おられたかと思ひますが、このような事態に備えて生活介護事業所の3階も地域住民が避難場所として活用できるように検討して参りたいと思ひます。あと、地域の行事や活動に私たちが参加できそうな行事がありましたら、教えていただきましたのですが。

・福島地区第4自治会長

地域行事の一環として、毎年、運動会を開催してきました。これからは老若男女問わずどなたでも参加できるように、競技においては、飛ばない、走らない、投げないといった種目を検討する方向で考えています。

ただ、地域住民も20年～30年前に比べると、地域の行事やボランティア活動に参加する人たちも少なくなってきたのが現状で、行事や活動として成り立たない部分が多く、開催を見送るケースも増えてきたと思ひます。時代や環境の変化に伴い、人との関わりも多種多様な面が見られます。しかし、地域住民が助け合いながら生活していかなければならない事には変わりありませんので、住民が気軽に地域の活動に参加できるような場を提供していく事が、今後の課題だと思ひます。

・民生委員

そうですね。以前は十五夜で相撲をとったりしていましたが、今では十五夜もなくなって、全体的に子供たちが参加しそうな行事もなくなっていますよね。休日には、習い事やスポーツ少年団の試合等を優先しているので、地域行事の参加も困難になっているのではないかと思ひます。

## 7. 総括(管理者より)

管理者より会議の締めくくりとして、

「時代の流れとともに、必要とされることやそうでないこと、目まぐるしく変化していきます。我々事業所も、国の方針等の指示の下で工夫を重ねながら、その時々に応じた対応をしてきました。その中で、利用者の皆さんの幸せを大切にしながら、一生懸命取り組んでいるところです。

今回のような地域連携推進会議は、制度上の開催ではありますが、目的に沿いながら利用されている方々、そしてその方々を支える職員の双方を育て、守っていくための大切な機会だと考えています。

今後も地域の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、これからも一緒に歩

んでいければと思います。今日のご参加ありがとうございました。」  
以上の言葉が述べられた。

## 8. 閉会

総括の言葉をもって地域連携推進会議は締めくくられる。